

学習活動

朝の会における司会の活動

活用の目的

○iPad を VOCA として使用し、朝の会の進行を行う。

活用の実際と工夫

- 使用したアプリケーションは、「Drop Talk」。
- 使用する生徒は「話し言葉のある程度理解しているが話すことが難しい」という「表出」に困難さがある生徒である。
- キャンパス上のシンボルをタッチすると、担任の声で「起立」「おはようございます」等の声が流れるように設定する。
- 使用するシンボルは、動作や状況が分かりやすいものを選択した。  
(前沢明峰支援学校の HP 上で公開されているイラストをいくつか使用した。)



シンボルをタップすると音声流れる。生徒は自分でタップして司会を行った。他の生徒は音声を聞いて起立したり、挨拶したりすることができているため、生徒同士のコミュニケーションが成り立っていることが確認できた。

活用の効果 ○効果 ●課題

- 「表出」に困難さがある生徒であるが、音声(担任の声)を手がかりに、発声のまねをしようという様子が見られた。
- シンボルの表示 & VOCA の教材としては構造がシンプルで、用意もしやすい。
- 生徒の実態から本単元では使用しなかったが、「文章モード」を利用すればいくつかの言葉を繋げて再生できるため、話し方の学習に役立つと思われる。
- 第一世代のモデルにはカメラがないため、適切なイラストを用意するのに時間がかかった。
- タッチの仕方によってはうまく再生されなかったり、フリックで隣のページに移動することがある。
- 大きな声で録音しないと、生音では教室内の生徒に聞こえないことがある。